

わがまちの未来を みんなで語り合う



「みらいを語る」「人をほめる」「断定しない」ルールで和やかな雰囲気に

11月27日、茂木地区公民館で「わがまちみらい会議室in茂木」が開催され、自治会をはじめ地元の団体・企業など約50人の方々に参加しました。

田上市長から長崎市の取り組みや将来像などについて説明があった後、参加者は「茂木の“宝物”さがし」や「茂木をこんなまちにしたい」というテーマでグループで話し合い、たくさんのアイデアが出されました。

今後も、住民の皆さんによる話し合いの場づくりなど、まちをよくする動きをしっかりとサポートします。

■問い合わせ 地域コミュニティ推進室(☎829-1283)

平和のバトンを引き継いで



第1回目の講座では被爆体験講話などがありました

12月5日、原爆資料館内や被爆建造物などのガイドをする「平和案内人」の育成講座が始まりました。

第6期生として19歳から76歳までの32人が参加。3月まで計15回の講座を受講した後、被爆の実相と平和の尊さを次世代に伝えていくため、5月から案内役を務める予定です。

■問い合わせ 長崎平和推進協会(☎844-9922)

世界に向けて平和を発信



スーザン・サザードさん(左)と中垣^{けんじつ}顕實さん(右)

11月18日にアメリカ・ニューヨーク在住の僧侶中垣顕實さん、11月20日にアメリカ・アリゾナ州在住の作家スーザン・サザードさんを、被爆地の思いを世界に伝える「長崎平和特派員」に認定しました。

中垣さんは、ニューヨークで毎年8月に原爆による死没者を追悼する平和の集いを開催しています。サザードさんは、長崎の原爆と被爆者の生涯をまとめた本をアメリカやイギリスで出版しました。

■問い合わせ 平和推進課(☎844-9923)

長崎おでんで まちなかの賑わいづくり



ちくわ王妃(左)と竜眼王(右)も認定を喜んでいました

長崎の水産練り製品の販路拡大を目指す「長崎かんぼこ王国」は、昨年11月から12月に路面電車内で「長崎おでん」を食べながらまちなかを巡る「おでん電車」の運行に取り組み、県内外から注目を集めました。

市は、こうした取り組みをまちなかの賑わい創出につながるものとして「まちぶらプロジェクト」に認定し、11月26日に認定証を交付しました。

■問い合わせ まちなか事業推進室(☎829-1178)